

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-248351
 (43)Date of publication of application : 29.10.1987

(51)Int.Cl.

H04M 3/42

(21)Application number : 61-092497
 (22)Date of filing : 22.04.1986

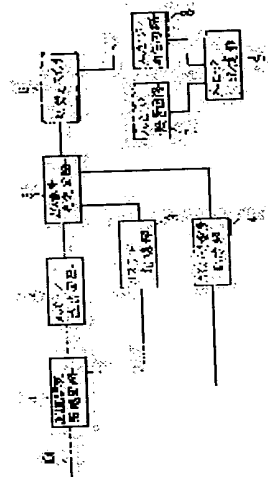
(71)Applicant : NEC CORP
 (72)Inventor : HORIBE KOICHI

(54) EXCHANGE WITH VOICE MAIL FUNCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To enable the reception of a message addressed to one's own from anywhere, by checking whether a number sent first from a caller is a password, or a voice mail number, and reproducing the message based on an ID number decided result.

CONSTITUTION: An ID number decision circuit 5 decides whether the number sent first from a user coincides with data stored at a password storage part 3, and a voice mail number storage part 4. When a subscriber listens to the message sent to himself/herself, the subscriber dials his/her own subscriber telephone number, and after the connection of a line to a voice mail system, he/she dials his/her own password. The ID number decision circuit 5, when a sent dial number coincides with the data stored in the password storage part, switches a bus to a message reproduction circuit 8. The message reproduction circuit 8 reproduces the message stored in a message storage part 9, and sends it out to the subscriber.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-248351

⑤ Int. Cl.⁴

H 04 M 3/42

識別記号

庁内整理番号

J-8125-5K
E-8125-5K

④ 公開 昭和62年(1987)10月29日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑬ 発明の名称 ボイスメール機能付き交換機

⑭ 特 願 昭61-92497

⑮ 出 願 昭61(1986)4月22日

⑯ 発 明 者 堀 部 浩 一 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑰ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑱ 代 理 人 弁理士 井ノ口 壽

明 細 書

1. 発明の名称

ボイスメール機能付き交換機

2. 特許請求の範囲

加入者がボイスメール番号として登録する電話番号を記憶しておくためのボイスメール番号記憶部と、前記ボイスメール番号に対応してメッセージを記憶するためのメッセージ記憶部と、前記メッセージを前記メッセージ記憶部へ録音するためのメッセージ録音回路と、前記メッセージを前記メッセージ記憶部から再生するためのメッセージ再生回路と、前記加入者が前記メッセージ記憶部から前記メッセージを引出す際に前記加入者を識別するためのパスワードを登録して格納しておくためのパスワード記憶部と、前記メッセージ記憶部にボイスメールを投函するためにボイスメール番号を発呼する発呼者に操作手順メッセージを送出するためのメッセージ送出回路と、前記ボイスメールの加入者が自身のボイスメールのメッセージを前記メッセージ記憶部から引出す際に前記パ

スワードをID番号により識別するためのID番号判定回路と、前記ID番号判定回路の出力により前記ID番号が正しい場合に限って前記メッセージ録音回路を切離し、前記メッセージ再生回路を前記ID番号判定回路に接続して再生側に切替えるための切替えスイッチと、回線の開放を検出したときに前記メッセージ録音回路および前記メッセージ再生回路に動作停止信号を送出するための回線開放監視回路とを具備して構成したことを特徴とするボイスメール機能付き交換機。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、ボイスメールサービスに供する交換機の回路に関する。

(従来の技術)

従来、この種のサービスとしてはPBXにおけるボイスメールサービスが公知である。

ボイスメールサービスでは定められた電話器からのボイスメール登録、および定められた他の電話器へのボイスメール配信が可能であり、そのサ

ービスは定められた電話器に付随するものであつて、特定の加入者に与えられたものである。

したがつて、外来者または登録してある電話器の設置場所から離席した者が、目的とする相手にボイスメールを行うボイス版にあたる私書箱のサービスは行っていない。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来の電話器では、外来者または登録してある電話器の設置場所から離席した者が目的とする相手にボイスメールを行うボイス版にあたる私書箱のサービスは行えないという欠点がある。

本発明の目的は、操作手順メッセージを送出し、発呼者が最初に送出する番号がパスワードであるか、あるいはボイスメール番号であるかをチェックし、ID番号判定結果によりメッセージを再生することにより上記欠点を除去し、私書箱のサービスを行うことができるように構成したボイスメール機能付き交換機を提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明によるボイスメール機能付き交換機は、

を発呼する発呼者に操作手順メッセージを送出するためのものである。

ID番号判定回路は、ボイスメールの加入者が自身のボイスメールのメッセージをメッセージ記憶部から引出す際に、パスワードをID番号により識別するためのものである。

切替えスイッチは、ID番号判定回路の出力によりID番号が正しい場合に限つてメッセージ録音回路を切離し、メッセージ再生回路をID番号判定回路に接続して再生側に切替えるためのものである。

回線開放監視回路は、回線の開放を検出したときにメッセージ録音回路およびメッセージ再生回路に動作停止信号を送出し、動作の停止を指示するためのものである。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は、本発明によるボイスメール機能付き交換機の一実施例を示すブロック図である。第1図において、1は回線開放監視回路、2はメッセ

ージ録音回路、3はパスワード記憶部、4はボイスメール番号記憶部、5はID番号判定回路、6は切替えスイッチ、7はメッセージ録音回路、8はメッセージ再生回路、9はメッセージ記憶部である。

ボイスメール番号記憶部は、加入者がボイスメール番号として登録する電話番号を記憶しておくためのものである。

メッセージ記憶部は、ボイスメール番号に対応してメッセージを記憶するためのものである。

メッセージ録音回路は、メッセージをメッセージ記憶部へ録音するためのものである。

メッセージ再生回路は、メッセージをメッセージ記憶部から再生するためのものである。

パスワード記憶部は、加入者がメッセージ記憶部からメッセージを引出す際に加入者を識別するためのパスワードを登録して格納しておくためのものである。

メッセージ送出回路は、メッセージ記憶部にボイスメールを投函するために、ボイスメール番号

送出回路、3はパスワード記憶部、4はボイスメール番号記憶部、5はID番号判定回路、6は切替えスイッチ、7はメッセージ録音回路、8はメッセージ再生回路、9はメッセージ記憶部である。

第1図において回線101は、回線100の自身が開放状態にあるか否かを検出するための回線開放監視回路1に接続されている。メッセージ送出回路2は、回線開放監視回路1とID番号判定回路5とに接続されている。ID番号判定回路5は、利用者が最初に送つてきた番号が、パスワード記憶部3およびボイスメール番号記憶部4に格納されているデータと一致するか否かを判定する。切替えスイッチ6は、ID番号判定回路5の出力に応じて回線101のパスをメッセージ録音回路7、またはメッセージ再生回路8に接続する。

メッセージ録音回路7は、送られてくる音声信号をメッセージ記憶部9に登録する。メッセージ再生回路8は、メッセージ記憶部9に記憶されたメッセージを再生して利用者に送出される。回線

開放監視回路1は、回線101が開放されたことを検出すると、メッセージ録音回路7およびメッセージ再生回路8の機能をともに停止させる。

次に、本発明の動作を第1図により説明する。

ボイスメールシステムに登録されている加入者は、一つの電話番号と登録加入者本人である旨を確認するためのパスワードとを得る。ボイスメール加入者に対してボイスメールを送出する場合には、発呼者は加入者の電話番号をダイヤルする。発呼者はボイスメールシステムのメッセージ送出回路2より送られてくる操作手順に従って、加入者の電話番号を再びダイヤルする。ID番号判定回路5は、送られてきたダイヤル信号と、パスワード記憶部3、またはボイスメール番号記憶部4に格納されているデータとが一致しているか否かをチェックする。上記両者が不一致の場合には、メッセージ送出回路2を起動して番号の再送を促す。

ボイスメールに登録されているものと判定された場合には、切替えスイッチ6を起動してバスを

メッセージ録音回路7へ接続し、発呼者の音声をメッセージ記憶部9へ記憶する。回線開放監視回路1は、発呼者がオンフックしたことを検出すると、メッセージ録音回路7を停止させ、すべてのメッセージ登録作業を停止させる。

次に、加入者が自身に送られてきたメッセージを聞く場合には、自身の加入電話番号をダイヤルし、ボイスメールシステムに接続されたならば自身のパスワードをダイヤルする。ID番号判定回路5では、送られてきたダイヤル信号と、パスワード記憶部に格納されているデータとが一致したとき、バスをメッセージ再生回路8に切替える。メッセージ再生回路8は、メッセージ記憶部9のメッセージを再生して加入者へ送出する。

(発明の効果)

以上説明したように本発明は、操作手順メッセージを送出し、発呼者が最初に出す番号がパスワードであるか、あるいはボイスメール番号であるかをチェックし、ID番号判定結果によりメッセージを再生することにより、どこからでも自

身の加入者番号とパスワードとをダイヤルするだけで自身あてのメッセージを受取ることができるという効果がある。

また、加入者は電話器、または留守番電話装置を所有することなく、斯かるサービスを受けることができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明によるボイスメール機能付き交換機の一実施例を示すブロック図である。

- 1・・・回線開放監視回路
- 2・・・メッセージ送出回路
- 3・・・パスワード記憶部
- 4・・・ボイスメール番号記憶部
- 5・・・ID番号判定回路
- 6・・・切替えスイッチ
- 7・・・メッセージ録音回路
- 8・・・メッセージ再生回路
- 9・・・メッセージ記憶部

特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 井ノ口 壽

図 1

